

コロナに始まり、コロナで終わった1年

先が見えない日々を過ごし、ようやく年度末を迎えました。3月5日に27名の卒業生を医療の現場へ送り出すことができました。コロナ禍で看護師への夢と希望と同時に不安も沢山あると思いますが、自分の理想の看護師をめざし、それぞれの場所での活躍を期待しています。

昨年11月の臨地実習から学内実習となりました。今、できること、学内実習でできることを考え、3年次統合実習、2年次成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ、1年次の基礎看護学実習Ⅱに取り組みました。改めて、患者さんから多くのことを学ばせていただいていること、指導者の皆様からのご指導に感謝いたします。

「看心ふらの3号」では学内実習でのこと、学校で新たに取り組んだこと、卒業式の様子についてお知らせしたいと思います。（校長澤田）

「1年を振り返り」

学生の皆さんからこの1年を振り返り一言書いて頂きました。

1年 山北 夏未さん

この1年はコロナが流行し、行事や地域との関わりが減ったりと活動制限があり大変な時期だった。しかし、活動範囲が狭くなる中で知識や技術の向上に努め成長することができた。2年次でも先輩として頑張っていきたい。

1年 高松 あかりさん

今年はコロナウィルスの影響で人と交流する機会が少なかったですが、同じクラスの皆と仲を深めることができました。来年も皆と仲良くなりたいです。

2年 大道 泰乃さん

新型コロナウイルス感染症が日本でも大流行し、行事がなくなったり、自宅待機を余儀なくされた時期もありました。しかし、無事に2年次の実習を終えることができたので、3年次に向い学習を続けていきたいです。

2年 坂本 詩織さん

新型コロナウイルスの流行によって授業や実習の方法が大きく変化した年でした。方法が変わることに大変さを感じましたが、学内実習で知識をたくさん身につけることができました。3年生に活かしていきたいです。

学内実習の紹介

成人看護学実習Ⅰ・Ⅱについて 成人看護学担当 田中文雄教

成人期にある健康障害をもつ対象の理解、看護過程を展開し健康障害を持つ対象への看護の役割と方法を学ぶことを目的に成人看護学実習Ⅰ・Ⅱを実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期を変更し学内実習として展開しました。事例や動画、演習など内容を工夫し、講義の展開と連動させながら成人期の対象の疾患や看護を学習しました。学生は初めての経験で戸惑いながらも、積極的に取り組む姿勢が見られました。また、学生からは病棟で実習できることのありがたさを実感したなどの声があり、改めて臨地で実習できることの大切さを認識できる機会にもなっていました。

合同技術演習 1・2年生

教務主査 佐々木政美

今年度は、看護学校の要である「臨地実習」へ行ける機会が減ったことを受け、3月22日(月)～26日(金)の5日間、根拠に基づいた技術習得と、異学年同士の交流を目的に『1・2年生合同技術演習』を行いました。その中で学生は、新たな自己課題が明確になったことや、2年生は上級生としての自覚が芽生え役割モデルを発揮でき、1年生はその先輩の姿から「わたしもこうなりたい」とあこがれをもったようです。今回の取り組みは、お互いに成長を実感できた機会となり、学年を越えた貴重な学びとなりました。

1週間のスケジュール

22日(月)	足浴 関節自動運動・他動運動、手浴 マッサージ 冷電法 温電法 漸進的筋弛緩法
23日(火)	経鼻胃チューブ挿入、酸素挿入中患者の車椅子移乗 整髪、シャワー浴、インシデント・アクシデントのグループワークと発表
24日(水)	膀胱留置カテーテルの管理 摘便・直腸内与薬 放射線曝露の防止
25日(木)	ネブライザー吸入 気管内吸引 体位ドレナージ 経口薬(バツカル錠・舌下錠)、止血法実施 検査介助(腰椎穿刺) 外用薬(湿布剤、塗布剤、麻薬の管理(麻薬・向精神薬)皮下注射
26日(金)	沐浴



熱心に取り組んでいました！！

祝 卒 業 おめでとうございます

令和3年3月5日に令和2年度卒業生27名が富良野看護専門学校を巣立ちました。ご来賓、保護者の皆様のご参列を制限させて頂き、昨年に引き続き規模を縮小し実施致しました。2年生の最後の成人看護学実習Ⅱを数日残し、緊急事態宣言の発令により、臨時休業となりました。3年生になり臨地実習ができるか、卒業できるかと不安で一杯だったと思います。課題ひとつひとつに真剣に取り組み、「看護師らしく」成長する皆さんを頼もしく見ておりました。

これから始まる日々に疲れた時、悲しい時にはいつでも「学校」に来てください。いつも応援しています。

答辞 永井美里さん



卒業生27名ひとりひとりにこれまでの学びの証である「卒業証書」手渡しました。



送辞 秋田谷 唯さん



卒業生へ花束 1年生の皆さん



保護者のご参列は1名様とさせて頂きました。ご理解、ご協力ありがとうございました。

3年生からの卒業時のメッセージ

- 高田 未来:私は就職後の現場では、富良野看護専門学校3年間で学んだ知識や技術を活かして患者さんにとって最適な看護ができるように成長していきたいと思います。また仕事とプライベートを両立して人生を楽しんでいきます。
- 水野留聖杏:3年間の学校生活を経て社会人になります。3年間で自分の長所や短所を見つけることができたので仕事に活かしていきたいです。将来はずっと看護師を続けていけるように適度に頑張っていこうと思います！
- 北川 真夢:私は患者さんに合わせた個別性のある看護を提供する看護師になりたいです。今まで学習してきたことを活かして自分の中の理想の看護師になるように頑張っていきたいと思います。
- 早川 志保:3年間、辛いことの方が印象に残っています。しかし、そんな中でも患者さんからいただいた言葉のおかげで頑張ることができました。私も今後は、患者さんが辛いとき、支えになれる看護師になりたいです。
- 森下 美樹:3年間を振り返ると毎日とても楽しく過ごしていたと思います。その中で得た知識と技術、大切な仲間と励まし合っただけで、高めに高めた経験を武器に、初心を忘れずに医療現場の世界に一步を踏み出したいと思います。
- 中嶋 太智:私は3年間を通して、看護の難しさを痛感し、辛いことも多かった。しかし、仲間や教員の方々の助けがあり乗り越えることができたと思う。現場に出てからは、状況に合わせて優先順位を決め、冷静に行動したい。
- 藤澤 梨帆:私は患者の気持ちに寄り添いながら個別性のある看護を提供できるように学校で学んだ知識や技術を活かしていきたい。また、専門職業人として責任ある行動と学ぶ姿勢を持ち続けながら一生懸命頑張っていきたい。
- 林 梨帆:3年間を振り返ると大変なことが多く、クラスの皆がいなければ卒業できなかったと感じています。大変な中でも楽しい思い出や学びも多く一瞬で3年が過ぎてしまいました。3年間の学びを忘れずに頑張ります。
- 有原 祐香:3年間、勉強とバイトの両立は大変でしたが効率良く過ごす力を身につけ、3年生になると連続実習と国試勉強は先が見えず、辛いこともありましたが、25期生のみんながいたから乗り越えることができ、有意義な時間でした。
- 鎌田 弥優:すごくすごく楽しい3年間でした！すごくすごく沢山学ぶことがあって、すごくすごく辛い実習もあったけれど、これからはもっともっと大変なことが待っているから、楽しかった3年間を思い出して頑張ります！
- 近藤 理沙:3年間の学校生活は、授業、実習と毎日が忙しくて過ぎていったなと改めて感じます。辛いことは多くありましたが、その中でも看護の楽しさを学ぶことができました。ここで学びを活かし、新しい環境でも頑張ります。
- 加藤 楓子:3年間、大変なことが多く、辛いこともたくさんありましたが、クラスのみんなか、先生方がいたから、ここまでやってこれることができました。卒業後、これまで学んできた知識を活かし頑張っていきます。
- 佐藤 愛里:私は対象の安全を確実に守り、対象の思いを尊重できる看護師になります。1年目はわからないことだらけで一番不安が大きいと思います。その分慎重に丁寧な仕事をし、毎日気合いを入れて仕事を覚えていきたいです。
- 有持 萌花:3年間、楽しいことや辛いことなど様々なことがありましたが、先生や家族、友達の支えのおかげで乗り越えることができました。感謝を忘れずに専門職として全力でがんばっていきます。ありがとうございました。
- 佐久間瑠菜:私は、患者さんに信頼され、何事にも真摯に向き合う看護師になりたいです。また、助産師を目指すとともに、常に前進し現状に満足しないで進化し続けられるように頑張ります。
- 板宮 明輝:3年間を通し、対象の個別性を大切に看護を意識し、大変な実習も仲間と共に乗り越えることができました。これからは医療従事者の一員として、対象へ寄り添うことを忘れず、責任ある行動をしていきたいです。
- 小林 莉子:3年間の中で日々の授業、実習を行い、あっという間の3年でした。就職後は今までよりもっと大変になりますが、切り換えをしっかりと、患者さん一人ひとりと向き合えるように看護できるように頑張ります。
- 三好 詩音:この3年間は忙しく大変だったけれど、みんなと楽しく過ごすことができ、あっという間でした。学校で学んだことと、多くの人に支えていただいた感謝をこれからも忘れずに、自分なりに精一杯頑張っていきます。
- 松居 果鈴:3年間、大変だったけれどクラスみんなのおかげで楽しく過ごすことができました。今後は、この3年間で学んだ看護の心を忘れず、活かしていきたいです。3年間ありがとうございました。
- 永井 美里:この3年間は想像以上に大変でしたが、先生方や友人、家族に支えられて頑張ることができました。今後は一人ひとりに患者さんを大切に、寄り添った看護ができるよう、一社会人として専門職として成長していきたいです。
- 水島 彩:私は、進学し保健師となるための勉学に励もうと思います。他の人達より遅れて社会に出ますが、地域住民の健康と生活を守るため、一層晩学に精を入れて取り組み、この学校の名に恥じないようにしたいです。
- 中島 宇海:私は卒業するまで4年かかってしまいました。長いようで短かった学生生活を終わり、社会人として、頑張っていきたいと思います。社会人になっても一緒に学んできた同教生と助け合って成長していきたいです。
- 外村 華穂:私は、この3年間を通して、様々な場面でたくさんの方の事を学んで成長することができたと思います。今後は学校で学んだことを活かして、専門職として頑張りたいと思います。
- 高島 寛子:3年間で個別性に合わせたケアを行うために必要なことは何かを学んできたため、学んだことをベースに活かしていきたいです。また自分の看護観や芯をもって一人ひとりの患者さんに向き合っていきたいです。
- 田中 幸奈:私は、患者さんに寄り添える看護師になりたいです。この3年間の学校生活は沢山辛いこともあったけど、学習したことをいかせるように今後も頑張って、自分の目指す看護師になりたいです。
- 米田 涼音:学校生活の3年間を通して「患者さんと信頼関係を築き、思いを表出できる看護師」を目指し、実習や日々の授業を頑張ることができました。3年間で学んだことを活かして理想の看護師像に近づけるように努力していきます。
- 繁泉 佳奈:富良野看護専門学校で学んだことを活かして、自分が目指す看護師像に近づけるように頑張ります。東京でお仕事面もプライベート面も幸せになります。富良野看護専門学校 25期生みんなに幸あれ！！